

# 平成24年度「読書に関する調査」の結果

平成25年3月  
福島県教育委員会

## 【調査結果概要】

平成24年11月の1か月間における平均読書冊数は、小学生は10.4冊、中学生は2.6冊、高校生（高校生のみ12月実施）は1.4冊であり、昨年度調査と比較すると、小学生は0.5冊、中学生は0.1冊減少し、高校生の平均読書冊数は同じであった。

「読まない」と回答した小学生の割合は1.8%、中学生の割合は17.0%、高校生の割合は48.5%であり、昨年度調査と比較すると、小学生は0.1ポイント減少し、中学生は0.6ポイント増加した。また、高校生は3.2ポイント減少している。

平成16年度からの調査結果の推移を見ると、小学生の読書量は4.2冊から10.4冊へと8年間で倍以上増加してきており、中学生の読書量についても1.6冊から2.6冊へと約1.5倍以上となっている。また、「1か月に1冊も読まない」と回答した子どもの割合は、小・中・高校生ともに減少してきている。

「読まない理由」は、小学1・2年生は「遊びが楽しい」（1年生は「ゲームが楽しい」も同じ割合）、小学3年生は「ゲームが楽しい」、小学4年生～中学2年、高校2年生は「マンガ等が楽しい」、中学3年生は「勉強等で忙しい」、高校1年生は「部活動で時間がない」と回答している割合が高い。また、読書のきっかけについて、小学生の大半が「学校の図書館で見つけた」と回答しており、中学生及び高校生は「本屋で見つけた」と回答した割合が高い。

1か月間の平均読書冊数は、小中学生で若干減少したが、1か月間に1冊も読まない児童生徒は減少傾向にある。学校・学級の子どもの実態に応じた読書指導や、学校図書館の有効な活用について、今後も具体的な取組が求められる。

## 1 調査の概要

### (1) 調査の趣旨

子どもの読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く考えるなど、生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものである。

県教育委員会においては、平成22年3月に「福島県子ども読書活動推進計画（第二次）」を策定し、様々な施策を展開しているところであるが、これらの施策を評価し、今後の施策に生かすため、本県児童生徒の読書に関する調査を実施している。

- ・第1回調査：平成16年10月実施
- ・第2回調査：平成18年4月実施
- ・第3回調査～：平成19年11月実施（※以後、毎年11月に実施することとする）
- ・第8回調査：平成24年11月実施（今回実施）

※ 高等学校においても12月に同様の調査を実施した。（平成21年度から）

### (2) 調査項目

- ア 各学年における児童生徒1か月の読書冊数（学校及び家庭等での読書冊数の合計）
- イ 読書しない理由に関するもの（最も当てはまるものを1つを選択）
- ウ 読書するきっかけに関するもの（最も当てはまるものを1つを選択）
- エ 本を手に入れた方法に関するもの（最も当てはまるものを1つを選択）

### (3) 調査対象校及び調査人数について

- ア 調査対象校：県内すべての公立小・中学校（分校は除く）  
及びすべての県立高等学校（1、2年生、分校を含む）
- イ 調査人数：各学年1学級を選定する。（すべての児童生徒に調査することも可）

小学校	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
調査人数	11,043	11,507	12,295	12,359	12,924	13,181	73,309

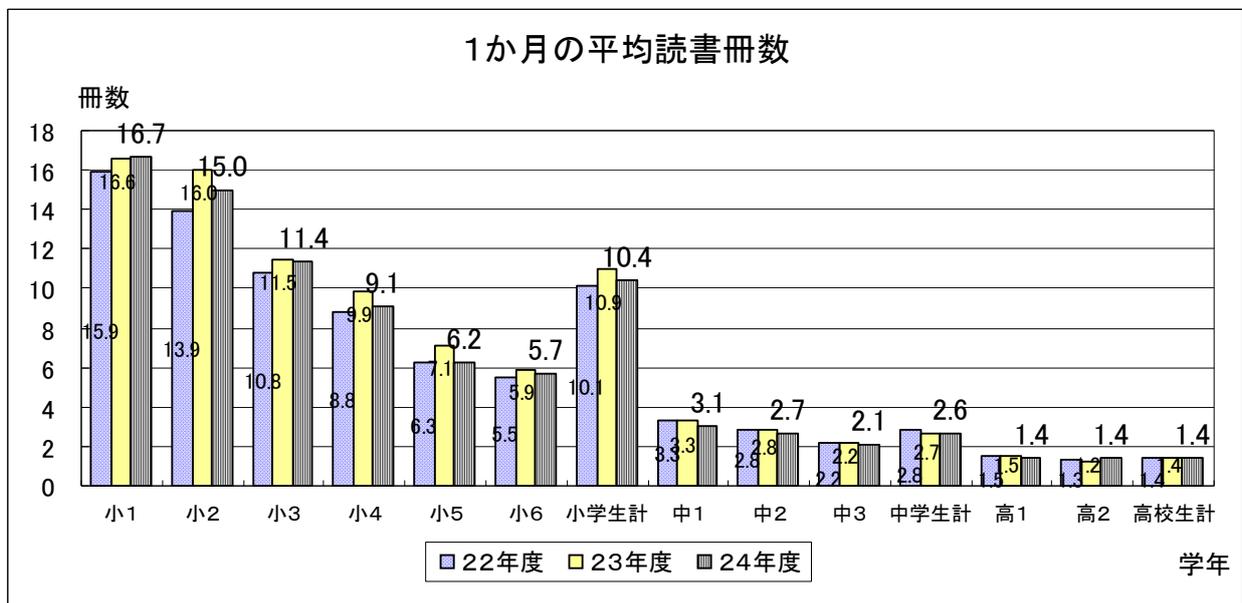
中学校	1年生	2年生	3年生	合計
調査人数	8,569	9,050	8,914	26,533

高等学校	1年生	2年生	合計
調査人数	4,265	4,192	8,457

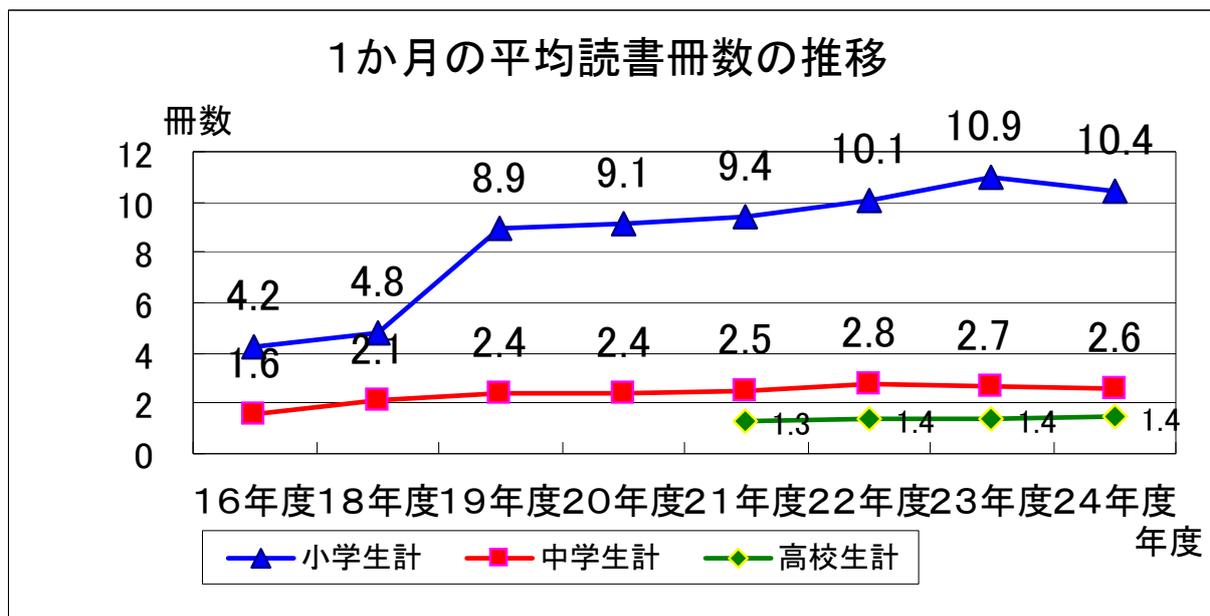
## 2 1か月の平均読書冊数について（【グラフ1】及び【グラフ2】参照）

- 平成24年11月調査における小学生全体の1か月の平均読書冊数は10.4冊、中学生全体の1か月の平均読書冊数は2.6冊、高校生全体の1か月の平均読書冊数は1.4冊であった。昨年度調査と比較すると、小学生は0.5冊、中学生は0.1冊平均読書冊数が減少した。また、高校生の平均読書冊数は同じであった。
- 1か月の平均読書冊数は、小学校1年生の16.7冊が最高であり、小・中・高校生ともに学年が上がるにしたがって減少している。
- 小学生全体では、「8冊以上読んだ」と回答した児童の割合が47.6%（昨年度は47.7%）で最も高い。中学生全体では、「1冊読んだ」と回答した生徒の割合が23.5%（昨年度は23.0%）で最も高く、「2冊読んだ」と回答した生徒の割合が22.0%（昨年度は21.7%）でこれに続いている。高校生全体では、「読まない」と回答した生徒の割合が48.5%（昨年度は51.7%）で最も高く、「1冊読んだ」と回答した生徒の割合が21.3%（昨年度は20.1%）でこれに続いている。

【グラフ1】



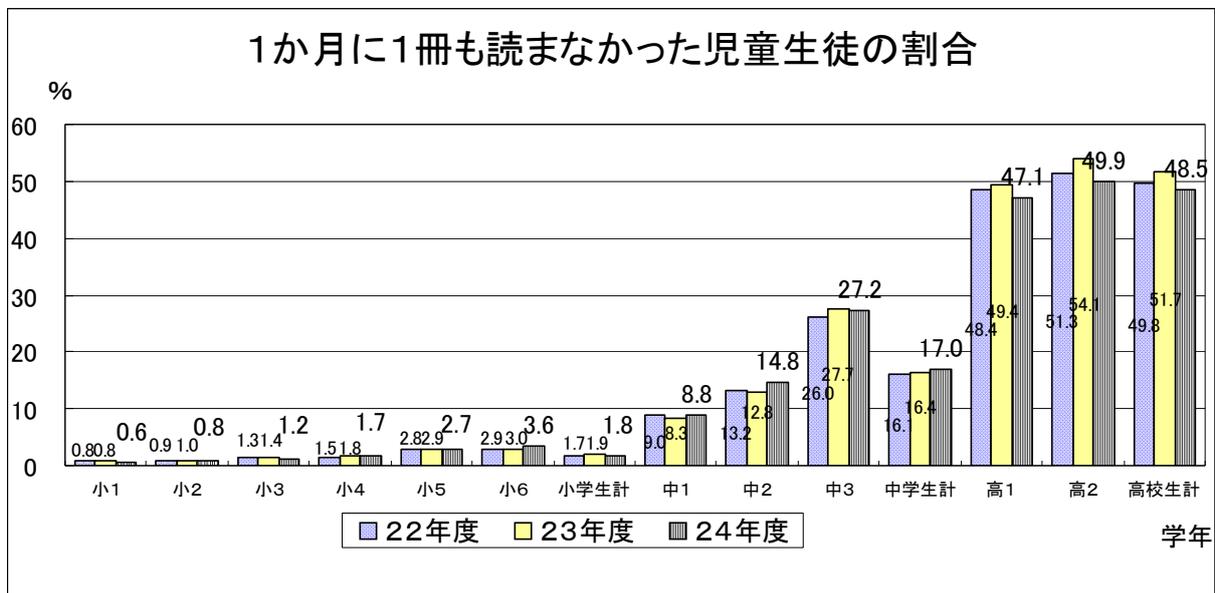
【グラフ2】



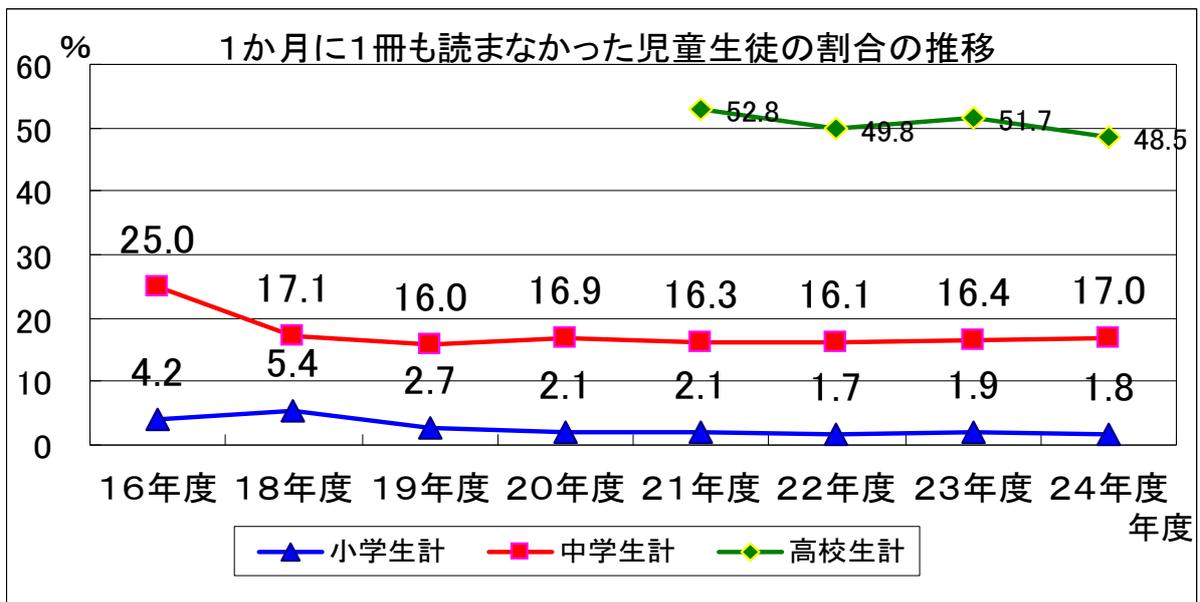
### 3 「読まない」と回答した児童生徒について（【グラフ3】及び【グラフ4】参照）

- 「読まない」と回答した児童生徒の割合は、小学生が1.8%、中学生が17.0%、高校生が48.5%であり、昨年度調査と比較すると、小学生は0.1ポイント、高校生は3.2ポイント減少したが、中学生は0.6ポイント増加している。
- 「読まない」と回答した児童生徒の割合は、小学校1年生が0.6%と最も低く、高校2年生が49.9%と最も高い。小・中・高校生ともに学年が上がるにしたがって「読まない」と回答した割合が高くなっている。
- 「読まない」と回答した小学生の「読まない理由」については、「マンガ等が楽しい」と回答した割合が22.4%で最も高く、「ゲームが楽しい」が16.2%、「遊びが楽しい」が15.5%と続いている。
- 「読まない」と回答した中学生の「読まない理由」については、「勉強等で忙しい」と回答した割合が26.0%で最も高く、「マンガ等が楽しい」が22.9%、「読まなくても困らない」が9.2%と続いている。
- 「読まない」と回答した高校生の「読まない理由」については、「マンガ等が楽しい」と回答した割合が20.2%で最も高く、「部活動で時間がない」と回答している割合が18.8%でこれに続いている。

【グラフ3】



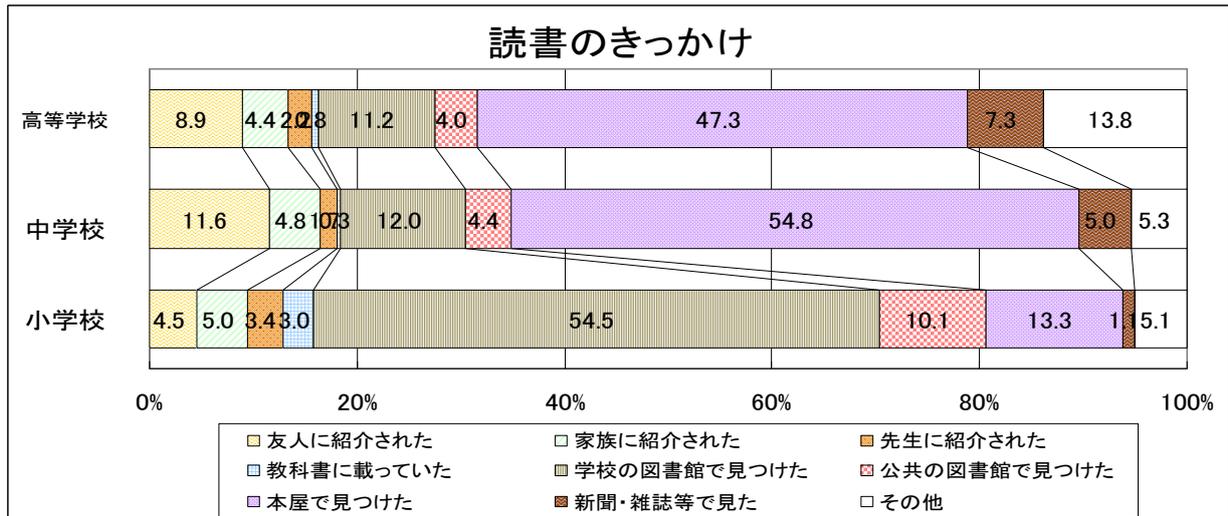
【グラフ4】



#### 4 「読書のきっかけ」について（【グラフ5】参照）

- 小学校では、「学校の図書館で見つけた」と回答した児童の割合がすべての学年において最も高く、小学生全体では54.5%を占める。続いて「本屋で見つけた」と回答した児童の割合が13.3%、「公共の図書館で見つけた」と回答した児童の割合が10.1%となっている。
- 中学校では、「本屋で見つけた」と回答した生徒の割合がすべての学年において最も高く、中学生全体では54.8%を占める。続いて「学校の図書館で見つけた」と回答した生徒の割合が12.0%、「友人に紹介された」と回答した生徒の割合が11.6%となっている。
- 高等学校においても中学校と同様の傾向が見られ、「本屋で見つけた」と回答した生徒の割合が最も高く、高校生全体で47.3%を占めており、「学校の図書館で見つけた」が11.2%、「友人に紹介された」が8.9%となっている。

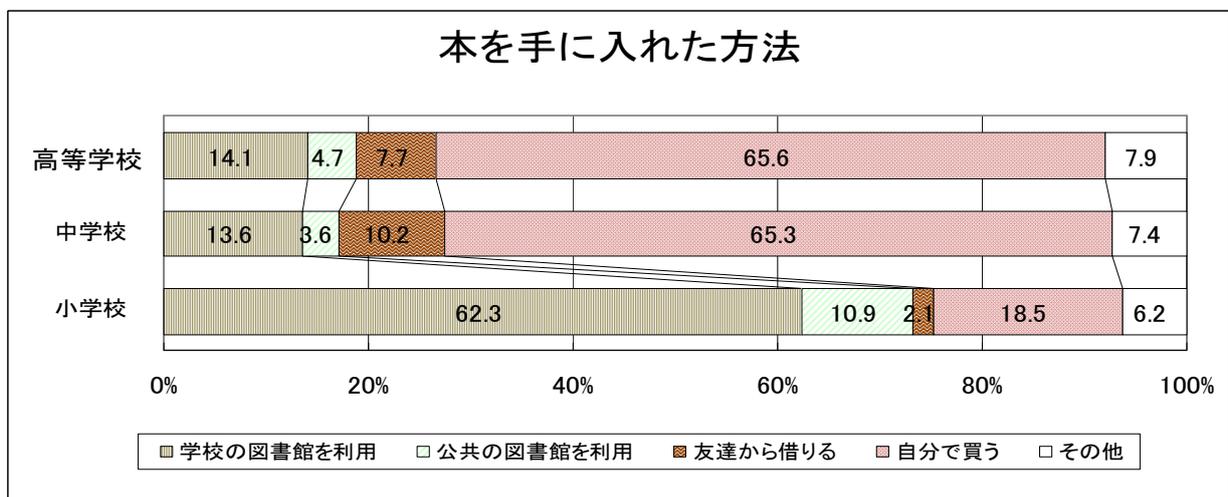
【グラフ5】



#### 5 「本を手に入れた方法」について（【グラフ6】参照）

- 小学校では、「学校の図書館を利用」と回答した児童の割合がすべての学年において最も高く、小学生全体では62.3%を占める。続いて「自分で買う」と回答した児童の割合が18.5%、「公共の図書館を利用」と回答した児童の割合が10.9%となっている。
- 中学校では、「自分で買う」と回答した生徒の割合がすべての学年で最も高く、中学生全体では65.3%を占める。続いて「学校の図書館を利用」と回答した生徒の割合が13.6%、「友達から借りる」と回答した生徒の割合が10.2%となっている。
- 高等学校においても中学校と同様の傾向が見られ、「自分で買う」と回答した生徒の割合がすべての学年において最も高く、高校生全体では65.6%で、「学校の図書館を利用」と回答した生徒の割合が14.1%、「友達から借りる」と回答した生徒の割合が7.7%となっている。

【グラフ6】



## 【資料】 子どもたちの読書活動を推進していくために

今回の調査結果を踏まえ、学校図書館の目的や役割を再認識し、学校図書館のさらなる利活用を図り、子どもたちの読書活動を推進していくことが望まれます。

### 1 学校図書館の目的・役割

#### (1) 児童生徒の「読書センター」及び「学習・情報センター」としての機能 《児童生徒の「読書センター」としての学校図書館》

学校図書館は、児童生徒の創造力を培い、学習に対する興味・関心等呼び起こし、豊かな心をはぐくむ、自由な読書活動や読書指導の場である「読書センター」としての機能を果たします。



#### 《児童生徒の「学習・情報センター」としての機能》

学校図書館は、児童生徒の自発的、主体的な学習活動を支援するとともに、情報の収集・選択・活用能力を育成して、教育課程の展開に寄与する「学習・情報センター」としての機能を果たします。

#### (2) 教員のサポート機能



学校図書館の計画的な利用とその機能の活用（学習指導要領（総則）は、各教科等を通じ、どの教員にも求められます。指導の改善・充実のため、それぞれの教員が、学校図書館の機能を有効に活用するスキルを身に付けていくことが大切です。

一方、学校図書館法において、学校図書館は、教員のために図書館資料の収集・整理・保存、供用を行う施設としても位置付けられています。

教科等指導のための研究文献や教師向け指導資料、教材として使える図書などを集めて教員が使えるようにしたり、こうした図書資料のレファレンスや取り寄せ等のサービスを行ったりする教員のサポート機能も、学校図書館が本来行うべき重要な役割の一つです。

#### (3) その他の機能

##### ア 子どもたちの「居場所」の提供

昼休みや放課後の学校図書館は、教室内の固定された人間関係から離れ、児童生徒が一人で過ごしたり、年齢の異なる様々な人々とのかかわりを持つことができる場となります。児童生徒がこのような学校図書館を、校内における「心の居場所」としていることも少なくありません。

また、放課後の学校図書館は、放課後の子どもたちに安全・安心に過ごせる場を提供することにもなっています。

##### イ 家庭・地域における読書活動の支援

学校図書館を、学校の児童生徒や教員だけでなく、地域住民全体のための文化施設として有効に活用できるようにすべきとする要請も多くなっています。このような要請の下、例えば、下記のような取組を通じ、地域における読書活動の核として、学校図書館の施設等やその機能の活用を図っている例もあります。

- ・ 家庭と連携して読書活動を進めるため、親子貸出しの実施など、保護者等の学校図書館利用を可能とする取組
- ・ 学校図書館を地域住民全体の文化施設と位置付け、放課後や週末に、他校（他校種の学校）の児童生徒や地域の大人にも開放する取組



## 2 訪れたい学校図書館づくり

学校図書館は、これまで述べてきたように様々な目的・役割があります。したがって、どのような学校図書館にしたいのか具体的な目標を持って、司書教諭や学校図書館担当者等を中心に、学校一丸となって学校図書館づくりを進めることが大切です。

### 〔環境づくり〕

学校図書館の雰囲気は、配架はもちろん、テーブルやいすの配置一つで大きく変わります。また、テーマ別コーナー、観葉植物や小物を配置するなどして、学校全体で明るい開放的な学校図書館づくりに取り組むことにより、学校図書館を訪れる子どもたちが増え、貸出冊数が大幅に増えた事例が報告されています。



### 〔図書の更新〕

蔵書は、どんどんため込む一方では数量的には増えますが、年数を経るに従って質的には落ちてきてしまいます。定期的に更新して、図書の新陳代謝をよくしておく必要があります。古い図書の中には大変貴重なものもありますが、学校図書館の目的は、「学校の教育課程に寄与する」ものですから、保存を第一の目的とする保存図書館ではありません。学習指導要領の改訂により教育課程に合わなくなっている図書や、専門書や難解な図書で児童生徒にほとんど利用されていない図書はありませんか。

また、蔵書を見直すために下の表などを利用して、自館の蔵書を客観的に評価することも大切です。

〔蔵書の標準配分比率(学校図書館メディア基準)〕

社団法人 全国学校図書館協議会

	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会科学	4 自然科学	5 技術	6 技術	7 芸術	8 言語	9 文学	合計
小学校	6	2	18	9	15	6	5	9	4	26	100%
中学校	6	3	17	10	15	6	5	8	5	25	100%
高等学校	6	9	15	11	16	6	5	7	6	19	100%

蔵書の配分比率は、冊数比とし、上の数値を標準とする。ただし、学校の教育課程、地域の実情を考慮して運用する。

### 〔学校図書館の情報化〕

蔵書情報がデータベース化されている学校や、公共図書館及び他の学校とのネットワーク化が整備されている学校が少しずつ増えています。学校図書館の情報化が進んだ結果、調べ学習が充実するとともに、貸出業務やレファレンス等が短時間で行われ、貸出冊数の増加をはじめとする読書活動の推進に結び付くなどの効果が報告されています。また、貸出業務にパソコンを導入したことにより、貸出データをもとに自分の読書活動を振り返らせたり、読書傾向をもとに個別にアドバイスを行ったり、蔵書の購入計画に反映させたりするなど、情報化が進んだ学校ならではの活用が図られています。



### 3 学校全体で取り組む多様な読書活動の推進

#### 〔読書タイムの位置付け〕

全校一斉読書を実施している学校の割合は、小学校で96.0%、中学校で78.8%、また高等学校で29.5%でした（平成24年度「学校図書館の現状に関する調査」）。短時間でも全校で取り組むことにより、子どもたちの読書のきっかけとなり、自分から読書する子どもを育成することにつながっています。

#### 〔学校図書館ボランティアの活用〕

読書活動の推進を図るために、多くの学校で「学校図書館ボランティア」又は「読書ボランティア」と呼ばれる方々が活躍しています。その多くは読み聞かせ等に関する活動が中心ですが、ボランティアに学校図書館の環境整備や図書の出借等の業務に御協力いただいている例も見られます。

なお、福島県教育委員会では、「子ども読書活動推進研修講座」を開講し、子ども読書に関心のある方、学校図書館に関心のある方を対象に研修会を行っています。その修了者には受講証書を授与しています。このような方々に学校に来ていただくことも可能です。詳細は教育事務所（総務社会教育課）にお問い合わせください。



#### 〔公共図書館との連携〕

公共図書館との連携は、図書館法及び学校図書館法それぞれに定められている重要な内容です。公共図書館は、学校及び学校図書館と連携を図ることが目的の一つになっています。その方法としては、資料の団体貸出をする、レファレンスサービスをする、子どもたちの図書館見学などを受け入れる、司書教諭等と公共図書館司書との連絡会を開くなど、地域の実情に即して様々な形で実施されています。地域の公共図書館に学校側からも働きかけてみるのが大切です。

平成24年度「学校図書館の現状に関する調査」 文部科学省 福島県調査結果より

(%)

調査項目	小学校	中学校	高等学校
全校一斉の読書活動を実施している学校の割合	96.0	78.8	29.5
読書活動の取組を実施している学校の割合	97.7	89.4	76.1
ボランティアを活用している学校の割合	71.0	10.6	4.5
公共図書館との連携を実施している学校の割合	71.4	27.5	56.8

#### 《子どもと本を結び付ける多様な活動やアイデア》

##### 〔図書館祭りや読書集会、読書祭りの開催〕

学校独自に図書館祭りや読書集会を開催したり、また、「こども読書週間」（4月23日～5月12日）や「読書週間」（10月27日～11月9日）に合わせて読書祭りを催したりして、読書に対する関心や意欲を高めている取組が見られます。

図書委員会による読み聞かせや本の紹介、読書クイズや、読書感想画や読書感想文の掲示を行う等、学校全体で取り組んだことにより成果を挙げています。



##### 〔多読賞・読書達成賞等の実施〕



多読賞や「〇冊」など「〇〇ページ」の目標を定めて、それを達成した子どもにも与える読書達成賞などの取組も見られます。

また、子どもたち自身が「読書月間中に5冊読む」「毎日10分読書をする」など目標を定めチャレンジするブックチャレンジや、図書委員会や司書教諭などがビンゴ用紙を準備して取り組む読書ビンゴなどのアイデアもあります。これらの取組により子どもたちを賞を与え、読書意欲を高めている事例も見られます。

### 【異学年担任等による読み聞かせ】

異学年の担任や図書委員会の子どもたちが読み聞かせをすることで、いっそう効果を挙げている事例が報告されています。学校全体での取組ならではの効果です。

### 【ブックバックの活用】

いつでも読みかけの本やこれから読みたい本を、手元に置いておくことが大切です。そのためには、机の横にブックバックをかけておくと便利です。このブックバックに本を入れて、学校図書館と教室を行き来するだけでなく、家庭への持ち帰りにも使用します。ブックバックを持つことは読書への意欲付けにもつながります。

### 【1冊の本でリレー読書】

クラスでリレーのバトンのように1冊の本を回して読書していく方法です。用紙を用意しておいて読み終わった後、その用紙に書き込んでから本とともに次の人に回していきます、紙上の読書会です。この後実際に読書会をすると、深く話し合うことができます。



### 【読書ノート】の活用】

読書の足跡を記録して残すようにします。読み終わったら読書の記録を残すことを習慣化していきます。どの学年でも、読書記録をつけていくことが自分の読書の励みになっていきます。日々記録することで負担を感じない簡単な記録ノートであることが大切です。

### 【心に残った文章をアンソロジーに】

「ここは心に残ったよ」と心に触れた文章を書き抜きます。「一番好きだったところは～」、「一番気になったところは～」、「一番感動したところは～」等、一行でもよいので書き抜きます。そうすることで読み終えた後でもう一度本を振り返ることになります。振り返ることで、読みが深くなります。

## 4 参 考

### 【平成24年度「学校図書館の現状に関する調査」の結果について】



昨年度、文部科学省が実施した調査結果を見ることができます。本県だけでなく、他県の状況も掲載されています。

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/dokusho/link/1330588.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/dokusho/link/1330588.htm)

これまで述べてきた事例などを参考に、できるところから取り組み始めることが大切です。今ある資源（人、施設、予算など）を最大限に活用して、少しずつ継続的に工夫改善の努力を積み重ねていくことが、学校図書館活性化の大きな力になります。

学校図書館に行けば新しい情報を得ることができる、そのような環境を整えるとともに、子どもたちの心のオアシスになるような場所を目指して、学校全体で取り組んでいきたいものです。

まずは、学校の読書環境づくりから始めてみませんか！



### 《参考文献》

「これからの学校図書館の活用の在り方等について（報告）」 子どもの読書サポーターズ会議  
「子どもの読書推進 学校図書館の整備充実に向けて」公益財団法人 文字・活字文化推進機構  
公益財団法人 全国学校図書館協議会 学校図書館整備推進会議  
「その蔵書、使えますか？ 図書の更新のすすめ」 竹村和子 著 全国学校図書館協議会  
「初めての読書指導 アイディア25〈小学校編〉」 福田孝子 著 全国学校図書館協議会  
「第61回福島県学校図書館研究大会 福島大会要項」 福島県学校図書館協議会

平成24年度「読書に関する調査」集計表 ～ 11月の1か月間に本を何冊読んだか～

平成25年3月 福島県教育委員会  
(人)

		小1	小2	小3	小4	小5	小6	小学生計	割合(%)	中1	中2	中3	中学生計	割合(%)	高1	高2	高校生計	割合(%)
調査人数		11,043	11,507	12,295	12,359	12,924	13,181	73,309		8,569	9,050	8,914	26,533		4,265	4,192	8,457	
読書冊数(1 か月当たり)	読まない	64	95	147	206	353	470	1,335	1.8	751	1,335	2,421	4,507	17.0	2,010	2,091	4,101	48.5
	1冊程度	266	321	496	586	1,065	1,120	3,854	5.3	1,826	2,066	2,341	6,233	23.5	972	829	1,801	21.3
	2冊程度	345	378	644	756	1,379	1,626	5,128	7.0	2,035	2,049	1,743	5,827	22.0	537	547	1,084	12.8
	3冊程度	405	519	769	1,052	1,722	2,050	6,517	8.9	1,556	1,392	1,000	3,948	14.9	273	297	570	6.7
	4冊程度	441	508	785	1,051	1,539	1,715	6,039	8.2	760	746	453	1,959	7.4	136	125	261	3.1
	5冊程度	554	680	1,065	1,297	1,616	1,591	6,803	9.3	582	539	305	1,426	5.4	103	88	191	2.3
	6冊程度	419	574	804	955	1,014	958	4,724	6.4	294	257	158	709	2.7	46	38	84	1.0
	7冊程度	527	522	692	841	758	656	3,996	5.5	169	142	94	405	1.5	39	43	82	1.0
	8冊以上	8,022	7,910	6,893	5,615	3,478	2,995	34,913	47.6	596	524	399	1,519	5.7	149	134	283	3.3
	合計読書冊数	184,051	172,089	140,238	112,564	80,315	75,123	764,380		26,229	24,336	18,975	69,540		6,183	5,959	12,142	
平均読書冊数	16.7	15.0	11.4	9.1	6.2	5.7	10.4		3.1	2.7	2.1	2.6		1.4	1.4	1.4		
読まない理由	勉強等で忙しい	6	13	9	24	31	32	115	8.6	78	122	972	1,172	26.0	184	217	401	9.8
	部活動で時間がない	0	2	7	19	11	17	56	4.2	86	159	18	263	5.8	398	372	770	18.8
	テレビが楽しい	2	2	6	15	21	20	66	4.9	59	93	149	301	6.7	114	130	244	5.9
	ゲームが楽しい	12	10	31	26	59	78	216	16.2	89	138	110	337	7.5	112	146	258	6.3
	マンガ等が楽しい	4	7	28	37	97	126	299	22.4	189	346	498	1,033	22.9	390	437	827	20.2
	遊びが楽しい	12	28	26	25	54	62	207	15.5	48	95	119	262	5.8	186	165	351	8.6
	どんな本を読んでもいいかわからない	5	5	15	19	16	19	79	5.9	25	51	100	176	3.9	92	93	185	4.5
	読まなくても困らない	2	8	2	5	12	30	59	4.4	50	131	234	415	9.2	247	234	481	11.7
	本が嫌い	10	8	11	16	29	45	119	8.9	76	133	132	341	7.6	129	101	230	5.6
その他	11	12	12	20	23	41	119	8.9	51	67	89	207	4.6	158	196	354	8.6	
読書のきっかけ	友人に紹介された	514	435	490	489	575	732	3,235	4.5	693	1,016	842	2,551	11.6	203	185	388	8.9
	家族に紹介された	702	559	641	598	585	521	3,606	5.0	449	325	291	1,065	4.8	93	100	193	4.4
	先生に紹介された	643	431	301	324	223	497	2,419	3.4	145	149	75	369	1.7	65	33	98	2.2
	教科書に載っていた	432	567	409	437	115	199	2,159	3.0	36	13	27	76	0.3	12	21	33	0.8
	学校の図書館で見つけた	6,829	6,931	7,112	6,697	6,184	5,493	39,246	54.5	1,164	826	663	2,653	12.0	234	254	488	11.2
	公共の図書館で見つけた	1,008	1,290	1,366	1,264	1,255	1,121	7,304	10.1	364	336	269	969	4.4	80	96	176	4.0
	本屋で見つけた	537	700	1,037	1,469	2,572	3,238	9,553	13.3	4,146	4,298	3,620	12,064	54.8	1,105	955	2,060	47.3
	新聞・雑誌等で見た	60	95	110	129	152	261	807	1.1	364	361	380	1,105	5.0	159	161	320	7.3
	その他	254	404	682	746	910	649	3,645	5.1	457	391	326	1,174	5.3	304	296	600	13.8
本を手に入れた方法	学校の図書館を利用	8,243	8,080	8,134	7,551	6,591	6,258	44,857	62.3	1,285	962	739	2,986	13.6	277	336	613	14.1
	公共の図書館を利用	1,161	1,458	1,443	1,367	1,298	1,150	7,877	10.9	329	241	228	798	3.6	108	98	206	4.7
	友達から借りる	99	125	192	271	333	457	1,477	2.1	560	950	740	2,250	10.2	173	164	337	7.7
	自分で買う	1,036	1,163	1,609	2,168	3,287	4,024	13,287	18.5	4,964	5,048	4,360	14,372	65.3	1,532	1,324	2,856	65.6
	その他	440	586	770	796	1,062	822	4,476	6.2	680	514	426	1,620	7.4	165	179	344	7.9